



シルバーカレッジ学習会



掛川市長 久保田 崇

掛川市のまちづくりのビジョン	1
『対話』と『チャレンジ』	2
プロフェッショナル人材の登用	3
世界とウクライナの平和を願う取組	4
掛川城天守閣などの修復工事	5
自動運転の実証実験	6
新型コロナウイルス対策	7
ワクチン接種の促進	8
地方分散の受け皿づくり	9
移住定住の促進	10
人に優しいデジタル化	11
三木つばき選手北京オリンピック出場	12
『シュート！』続編2 2年7月アニメ化！	13
まちなかのにぎわい創出	14
各分野の改革	
1 教育・子育て	15
2 農業・茶業	18
3 防災	20
4 環境	21

掛川市のまちづくりのビジョン

■ 世の中は急速に変化してきている

- 新型コロナウイルスのまん延
- リモート化やデジタル化の進展
- 本格的な人口減少社会
- 地球温暖化への対応



■ 持続可能な未来に向けて、新しいステージに挑むとき

戦略方針 『未来に向けてチャレンジできるまち掛川』



「生涯学習都市宣言」と「自治基本条例」の理念を実現するため、市民一人ひとりが輝き、いつでも、誰でも、何回でも、「未来に向けてチャレンジできるまち」を目指します



まちづくりの基本姿勢 <3つのしこう>

対話志向

- ・積極的に本音の対話を重ね、状況や思いを共有し、まちのさまざまな課題に取り組むとともに、対話を通じた心豊かな人づくりにつなげます

柔軟思考

- ・固定観念や既存の手法に捉われることなく、時代や社会の変化を的確に捉えながら、新しいまちづくりを進めていきます

未来試行

- ・これまでの地域での積み重ねを大切にしながら、さらに新しい考え方や感性、デジタルなどの技術を活用し、持続可能なまちを目指します

『対話』と『チャレンジ』

■ 『対話』

- ・これまでの生涯学習や協働のまちづくりを深化
- ・「本音の対話」によって互いの状況や思いを率直に知り合う

具体例

- **様々な機会を通して多くの市民と対話**
 - ・多くの市民との対話を実践し、意思疎通を図る
- **かけがわまちづくりミーティング2021**
 - ・コロナ禍で開催できなかった地区集会の代替事業
- **新規就農者や子育て団体との意見交換**
 - ・様々な立場の方と意見交換を行い、市政に反映



■ 『チャレンジ』

- ・急速な時代の変化により新しいステージに挑むときを迎える
- ・市民一人ひとりが輝くまちづくりのために

具体例

- **プロフェッショナル人材の公募**
 - ・掛川市として初めて副市長を公募し、市政を改革
- **LINEを活用した「情報受付デスク」**
 - ・道路等の不具合の情報をLINEで簡単に連絡
- **保育園等入園の電子申請、電子図書館サービス**
 - ・自宅のスマホなどからいつでも申請や利用が可能に



プロフェッショナル人材の登用

■ 副市長の公募



掛川市初、副市長の全国公募

- 様々な側面から市政の改革を担う
- 市民目線でのスピード感のある柔軟な市政改革

【応募資格】

- ・ 企業や団体において、組織を改革するようなプロジェクトに携わった経験をお持ちの方
- ・ 周囲や関係者の声に耳を傾け、対話・調整ができるコミュニケーション力をお持ちの方

■ 広報戦略官

- ・ 広報、CPの現場責任者として、企画やメディアへのアプローチなどに携わる
- ・ 掛川市の魅力や政策について市内外へ発信し、魅力的な街へ育てる

■ DX推進担当

- ・ ICTなどの技術を活用した市役所業務、市政、市民生活の改革を推進
- ・ プロジェクトマネージャーとして、施策立案、実装に向けた企画・設計など

■ スケジュール

- R3. 9.30 エン・ジャパン(株)と包括協定
- 10.18 公募を開始
- 11.14 公募締切

副市長1,498人、広報戦略官229人 石川紀子副市長
DX推進員173人の応募

- R4. 4. 1 石川紀子副市長 着任
松久晃士氏、大松良司氏 DX推進員就任



石川紀子副市長



松久晃士DX推進員



大松良司DX推進員

世界とウクライナの平和を願う取組

■取組

- ・世界とウクライナの平和を願い、令和4年3月4日から27日まで掛川城天守閣をウクライナ国旗の「青」と「黄」にライトアップ
- ・掛川市議会でも、3月9日付で議員発議による「ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を採択
- ・全国青年市長会（※）でも、3月11日付で「ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議声明文」を发出
 - ※全国青年市長会・・・地方自治の発展に寄与することを目的として、49歳までに当選した首長をもって組織する会

掛川城のライトアップとロシアの侵攻への抗議

■ウクライナ避難民への支援

- ・NPO法人掛川国際交流センター、市民活動団体 協働遠州と協働し、市内各所へ募金箱を設置
- ・募金は、協働遠州を通じて、日本赤十字社静岡県支部へ寄附
- ・手書きのメッセージ（※）が添えられたバッチをお礼として贈呈 ※スラーヴァ・ウクライニ（ウクライナに栄光を）
- ・掛川城公園管理事務所では、特別御城印（完売）の売上全額をユニセフのウクライナ緊急募金に寄付

○募金箱設置期間

令和4年4月1日(金)から28日(木)まで

掛川市役所本庁舎、掛川商工会議所、掛川城管理事務所 ほか



掛川城特別御城印

バッチ（2種類）

掛川城天守閣などの修復工事

■ 目的

- ・平成6年に**日本初の本格木造天守閣**として復元され、27年が経過
- ・天守閣の漆喰や廻縁・高欄、二の丸茶室や掛川城公園内の石垣などの経年劣化が顕著
- ・令和4年度に工事を実施し、一層魅力ある掛川城公園にリニューアル

■ 工事概要

- 1 掛川城天守閣
内容 天守閣漆喰壁、廻縁・高欄の修復
期間 6月～令和5年1月
- 2 掛川城公園内の石垣
内容 石垣積み直し
期間 8月～令和5年1月
- 3 二の丸茶室
内容 空調機の更新
期間 5月～7月



工事期間中も楽しめるイベントを随時企画

工事期間中は施設への入場ができませんが、現場見学会、シャチホコ展示会・プロジェクションマッピングなど、期間中ならでの企画を開催予定。
詳細は、市ホームページなどに随時掲載！



市ホームページ



自動運転の実証実験

■ 計画概要

- ・ 新たな移動手段として先端技術を活用した自動運転車両の活用を検討
- ・ 静岡県、東急(株)、ソフトバンク(株)と連携
- ・ 実証実験は、8月と11月を予定

■ 運行区間 (予定)

- ・ 掛川駅から三の丸広場までを運行



■ 遠隔監視

- ・ 掛川市の3階テラスにコントロールセンターを設置し、運行状況の遠隔監視や指示が行われる



新型コロナウイルス対策

■ 掛川市の感染予防の主な取組

- ・手洗いの励行やマスクの着用など基本的な感染予防対策の徹底、感染リスクの高い行動の回避を呼び掛け、新しい生活様式の定着を図ってきている



○ 市民へのワクチン接種



詳細は次ページ

○ 抗原検査キット（1万個）で早期対応

- ・県内初めて1万個の抗原検査キットを配備
- ・感染者が出た施設等で迅速な検査を行い、感染拡大の防止につとめる

■ 生活支援や経済対策（掛川市独自）※令和4年6月議会に追加議案として提出

○ プレミアム付商品券事業（デジタル商品券・紙商品券）

- ・デジタル商品券：1冊1万円分を5千円で販売／紙商品券：1冊9千円分を5千円で販売

○ 子育て世帯生活支援特別給付金

- ・低所得のひとり親世帯等に市独自分5万円を上乗せし、子ども1人あたり計10万円を給付

○ 給食材料費高騰対策事業

- ・高騰する材料費に国交付金を活用し、子どもの給食費は据置



今後、国の経済対策を受けてのさらなる対策

ワクチン接種の促進

■ 12歳以上のワクチン接種状況

人口	2回目接種者	2回目接種率	3回目接種者	3回目接種率	備考
116,907	96,793	82.79%	71,469	61.13%	6月12日現在

■ 小児（5-11歳）ワクチン接種状況

人口	1回目接種者	1回目接種率	2回目接種者	2回目接種率	備考
7,703	1,370	17.78%	1,258	16.33%	6月12日現在

■ 4回目ワクチン接種 個別接種：ファイザー社製、集団接種：モデルナ社製、武田社製(ノババックス)

接種券の発送

接種期間(予定)

接種券は、**3回目接種から5か月を経過したら発送します。**

令和4年9月30日まで

例) 3回目、2月14日接種→7月14日発送

※18歳～59歳は基礎疾患等を有する方のみになります。該当される方は、**申請が必要**です。

①個別接種

接種券通知に同封のワクチン接種実施医療機関一覧により、ご希望の医療機関と予約受付方法で、接種予約をしていただきます。

②集団接種（徳育保健センター、大東保健センター、大須賀市民交流センター）

コールセンター、予約サイトから予約できます。ただし、本年2月～3月に3回目を集団接種で接種された60歳以上の方は、予約を割当します。個別接種希望や割当された日時が都合が悪い場合などはコールセンター、予約サイトから予約のキャンセル変更をお願いします。

予約方法



地方分散の受け皿づくり

産業基盤の整備やまちづくり事業により「地方分散の受け皿」となる

○ 大坂・土方工業用地 西工区 (11.8ha)

※ 2区画造成 (北側区画/南側区画)

- ・ 令和2年5月 造成工事着手
 - ・ 令和3年6月 北側区画・興国インテック(株) 新工場建築工事着工
 - ・ 令和4年7月 造成工事完了予定
10月 興国インテック(株)操業開始予定
- ※南側区画・企業誘致中



整備が進む「大坂・土方工業用地」

○ 上西郷地区整備推進事業 (47.8ha)

- ・ 令和3年3月 事業者からの企画公募開始
- ・ 令和3年12月 (株)日本エスコンを事業協力
予定者に決定

上西郷地区整備推進事業の3つのテーマ

- ・ 持続可能なまちづくり
- ・ 新時代を目指すまちづくり
- ・ ポストコロナ社会を見据えたまちづくり

○ 新エコポリス第3期工業用地 (約33ha)

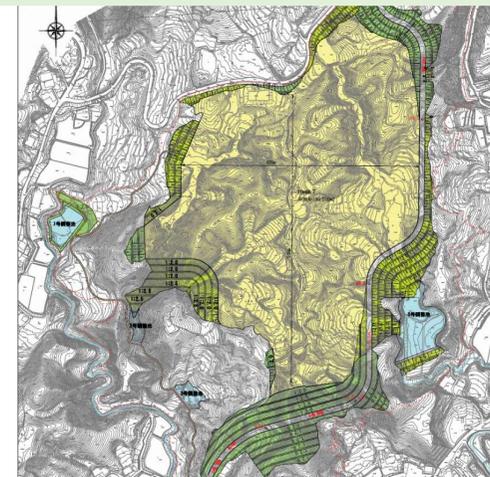
- ・ 早期事業着手に向けて調整を進める

○ 新東名掛川第2PA (3.7ha)

- ・ 早期事業着手に向けて調整を進める

○ 下垂木地区まちづくり事業 (52.1ha)

- ・ 令和3年度 第二期計画スタート
桜が丘通り線、神田一丁田線南工区などを整備



移住定住の促進

掛川市への令和3年度移住者数が過去最多・県内第8位！
テレワークが進み、掛川市を含む県西部も首都圏の通勤圏へ

■ これまでの取り組み

- **オンライン相談会**
オンラインを活用した相談会を定期開催し、全国からの相談に対応
- **移住者との意見交換会**
移住者による座談会を開催。今後の移住施策に必要なものを確認



■ 今後の展開

- **地域おこし協力隊の活用**
イメージ戦略を図るとともに、移住者モデルとして市と伴走し、さらなる移住者を呼び込む
- **移住促進拠点施設の整備**
宿泊スペース・ワークスペース・多目的スペースを備えた「移住促進拠点」を整備
- **「選ばれる都市」となるための情報発信**
まちの様子や暮らしぶりなどを発信し、移住地として選ばれる都市を目指す
- **地域等と連携したマッチングの強化**
地域等と連携し、移住希望者とのマッチングを図るとともに、丁寧な案内によりさらなる移住者増に繋げる



地域おこし
協力隊
芳川翠さん



人に優しいデジタル化

■ デジタル化の方向性

- あらゆる分野の基盤にデジタル化を意識
- 令和4年度、「DX推進計画」を策定
- ノウハウのある民間人材の力も借りてデジタル化を推進
- スマホで行政手続きがどこからでもできる「手のひら市役所」
- LINEやTwitterなどのSNSによる情報発信を強化



■ デジタル化の取組

豊かな 地域づくり

- ・ G I G Aスクール構想
- ・ データ公開の推進
- ・ 防災対策への活用



行政サービ スの向上

- ・ 電子申請の推進などマイナンバーカードの活用促進
- ・ 市事業のWeb配信など市民生活の利便性向上
- ・ 電子図書館システムの運用開始



働き方の 転換

- ・ R P A を活用した業務効率化
- ・ 電子決裁、テレワークの拡大
- ・ 保育所等 A I 入所選考システムの導入



三木つばき選手 北京オリンピック出場、感動をありがとう！

■ 県内選手初の表彰台を目指すも、決勝T敗退

- ・ 2月4日開幕の北京2022オリンピックに、掛川市出身のアルペンスノーボーダー、三木つばき選手（CATALER）が出場。
- ・ 掛川市出身選手が冬季オリンピックに出場するのは初。
- ・ 4月15日、「掛川市スポーツ特別賞」を受賞。



競技種目
競技日程
(日本時間)

競技	スノーボード	種目	女子パラレル大回転
日程	令和4年2月8日(火)		
予選	2本滑降	計1分27秒15	<u>全体3位</u>
決勝	1回戦敗退		

■ 三木つばき選手 プロフィール



平成15年6月1日 長野県白馬村生まれ
掛川市立桜木小、桜が丘中学校卒業
現在、勇志国際高校3年

- 4歳 スノーボードをはじめる
- 小4 JSBA全日本選手権初出場
- 小6 プロ登録 SAJ全日本ジュニア選手権小学生の部優勝
- 中1 本格的に海外遠征に参戦
- 以後、数々の大会で活躍、輝くかけがわ応援大使

サッカー漫画『シュート!』続編22年7月アニメ放送開始!

■ 「シュート!」とは

1990年から2003年までの約13年間にわたり週刊少年マガジンで連載され、1993年にアニメ化、1994年には講談社漫画賞少年部門を受賞し、同年SMAPを起用した実写映画も公開された累計発行部数5,000万部の掛川市を舞台としたサッカー漫画である。約13年間にわたり連載されてきた原作は、掛川高校サッカー部が、全国優勝を果たす最強のチームへと変貌を遂げるまで描いた物語。

■ 「シュート!」続編のアニメ化が決定!

「シュート!」の原作者は、掛川市出身の漫画家：大島司氏であり、今回のアニメ化は、原作「シュート!」の続編で、完全オリジナルの新作アニメ化となる。

また、前作「蒼き伝説シュート!」全58話がYouTube東映アニメーションミュージアムチャンネルで無料配信される。

■ 掛川市の取組

① コラボアート制作

アニメのキャラクターの背景に掛川の風景やシンボル等を書きおろしたアートを制作し、市のPRに活用する。

② デジタルスタンプラリー

アプリ「舞台めぐり」を使用して実施し、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末により市内周遊を促す。

③ ジュビロ磐田記念試合

「掛川×シュート!アニメ化記念マッチ」を開催し、“**掛川**”の名を広く周知する。



まちなかのにぎわい創出

■ かけがわストリートテラス

- ・居心地が良く歩いて楽しめるウォーカブルなまちを目指す
- ・三の丸広場、連雀西交差点北側歩道にストリートファニチャーを設置

期間 令和3年11月1日～令和5年3月31日

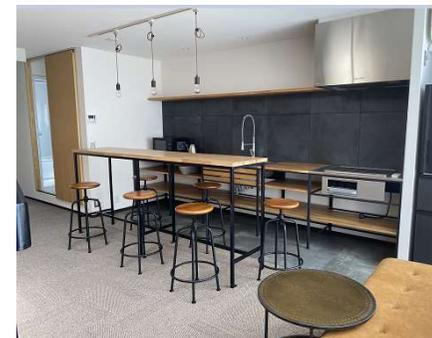


静岡理工科大学の学生が
デザインを考案

■ JOKA BASE (ジョウカベース)

- ・運営主体 (かけがわランド・バンク) が市補助金を活用して整備した拠点。移住体験や交流体験により関係人口・交流人口拡大を目指す。
- ・建物概要 市内城下3-3・鉄筋3階建て
2階：学生寮 3階：簡易宿所

学生寮 令和4年6月～、簡易宿所 8月～稼働



3階テラスからは掛川城を一望

■ チャレンジBASEなかまち (街なか空き店舗活用事業)

- ・空き家及び空き店舗の増加抑制、商店街の活性化や街なかの賑わいの創出を目指す
- ・建物概要 市内中町3-21・床面積60㎡・3区画
(BASE1及び2 各9㎡、BASE3 3㎡)

期間 令和4年7月1日から令和4年12月31日
(第1期) ※第1期出店募集受付終了



改革1 教育・子育て ①

義務教育は100年に一度の変革期

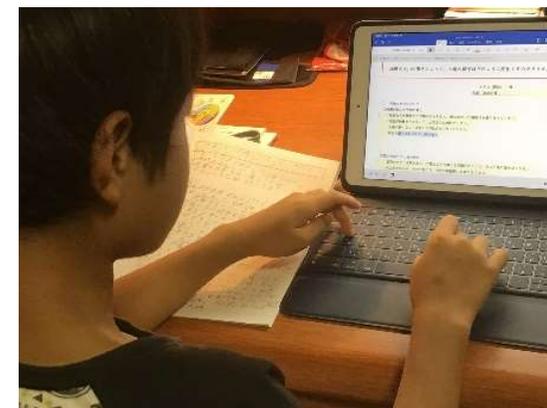
令和2年度 市内すべての小・中学生に一人一台タブレット
令和4年度 小学校高学年に教科担任制が本格導入

■ 教育情報化の推進

- ・ 授業へのオンライン参加
- ・ インターネットでの情報収集
- ・ 特性に応じたICT活用



タブレットを活用した対話的な学び



タブレットを活用した家庭学習

■ 特色ある取組

- **かけがわ教育の日**
 - ・ 市民総ぐるみで教育の振興を図る契機として毎年開催
- **中学校区学園化構想**
 - ・ 市内9つの中学校区ごとに、園・学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育を実施
- **かけがわお茶の間宣言**
 - ・ 家族が集う「お茶の間」の役割を再確認し、家族団らんから生まれる財産を基に人づくりにつなげる取組



かけがわ教育の日 掲載動画

改革1 教育・子育て ②

小・中学校再編の検討 子どもファーストでより良い教育環境の実現へ 令和4年度から再編の議論をスタート

■ 学校再編の目的

- ・ 教育の変化に対応した「新たな学校づくり」の推進
- ・ 少子化の進展や学校施設の老朽化への対応

■ 学校再編の目指すもの

- ・ 園小中一貫教育の推進 一貫教育の効果が発揮できる学校づくり
- ・ 中学校区学園化構想の推進 地域の教育力を活用した地域総ぐるみの教育の推進
- ・ 多様な教育活動ができる集団規模の確保 適正な学校規模の確保

■ 今後の予定

- 市民意見交換会の実施（8月頃開催予定）
 - ・ 9中学校区単位でファシリテーターを活用した対話型形式
 - ・ 地域の代表者、児童等の保護者等、多様な世代が未来の学校を検討
 - ・ 会場参加できない市民の幅広い意見も反映する仕組み



意見交換会を踏まえた学校再編計画の策定 ～理想の学校像実現へ～

改革1 教育・子育て ③

待機児童ゼロの継続、 質の高い乳幼児教育・保育のために

■ 様々な子育て支援策

- ・ こども家庭総合支援室による相談・支援の充実
- ・ 子育てコンシェルジュの訪問活動
- ・ 高校生年齢まで子ども医療費を助成、未就学児入通院費無料
- ・ 子育て総合案内サイト「かけっこ」の充実
- ・ 地域子育て支援センターなど17か所の子育て支援施設を開設
- ・ 子育てにやさしい事業所づくりの推進

■ 幼児教育・保育環境の充実

○ 幼児教育・保育環境の整備

- ・ R3.4 よこすかぬく森こども園、智光こども園、モコ掛川保育園、小規模保育園2園が開園
- ・ R4.4 おおぶちそよ風こども園、千羽すぴか保育園の開園
- ・ R5.4 きとうこども園の開園予定

○ 保育の質の向上

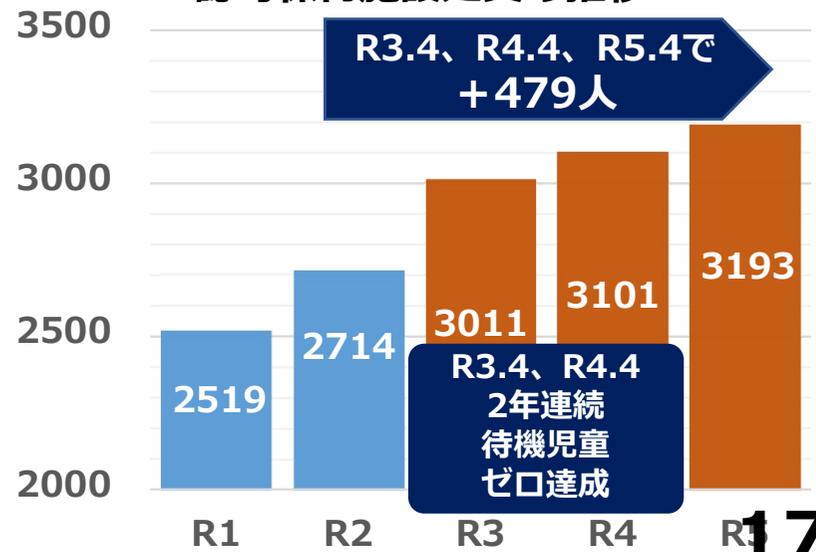
- ・ かけがわ乳幼児教育未来学会の取組

○ 保育士の確保

- ・ 安定した保育士確保に資する事業の実施
- ・ お仕事応援相談会、就職応援資金貸付事業



認可保育施設定員の推移



改革2 農業・茶業 ①

掛川市の農業算出額は 4位 / 県内35市町 (R1市町村別農業産出額)
ブランド力を磨き 地域で育み 伸びゆく農業へ

■ 地域ブランドの発信

○ 掛川茶 掛川市は、全国茶品評会の深蒸し煎茶の部にて
全国最多の23回の産地賞を受賞

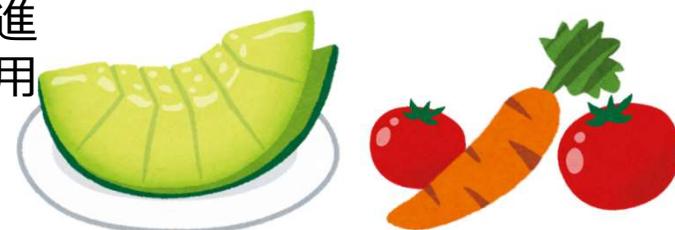
- ・ 掛川茶未来創造プロジェクト 期間：R4~8 (5カ年)
~**10年後**も掛川が世界に誇れる「お茶のまち」であるために~
【生産】茶産地掛川を支える一次産業の所得向上
 - ・ 有機栽培の拡大
 - ・ 茶生産体制、基盤の再構築【流通】時代を先取りする流通構造への転換
 - ・ 持続可能な茶取引「茶業版フェアトレード」【消費】茶産地掛川の持続を可能とする消費拡大策の推進
 - ・ 掛川茶リブランディング事業
 - ・ 健康効能活用



新たなブランドイメージ
「お茶と暮らし」

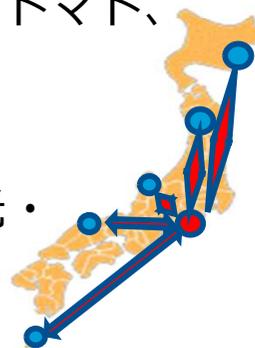
○ 掛川牛、露地・施設野菜の振興

- ・ 指定産地作物の安定供給に向けた取組
- ・ 地域ブランドとして商標登録されているメロン、トマト、ニンジン、掛川牛など農畜産生産者の支援



■ 互産互消の展開

- ・ 地方都市とのネットワークを形成し、特産品・観光・定住の交流につなげて、地域経済の活性化を図る
- ・ 現在21地域産品の互産互消活動を展開中



これっしか処等で互産互消の
商品を販売中

改革2 農業・茶業 ②

若い人が希望を持って参入できる仕組みづくりのために

■ 規模拡大、環境整備支援

○ 土地改良事業

- ・ 令和3年度：市内11ヶ所で実施
- ・ 令和4年度：市内12ヶ所で実施
- ・ 事業地区：佐束、沖之須、大坂、千浜、野中、寺島・幡鎌、遊家・家代、五明、三井 など

○ 人・農地プランの実質化

- ・ 地区内の5～10年後の農地利用を担う経営体の在り方を決めていく。
- ・ 令和2～3年度：市内全域22地区で実施



基盤整備事業による圃場整備

■ 新規就農者への支援

○ 各種研修制度の紹介

- ・ 短期農業インターン受入事業、がんばる新農業人支援事業など

○ 就農資金の交付

- ・ 次世代を担う農業者を志す49歳以下の者に、就農準備や開始時の経営を支援する資金を交付
- ・ 農業次世代人材投資資金
令和4年度予算 11人×150万円 = 1,650万円



基盤整備事業に向けた地元打合せ



新規就農者との意見交換



災害による死亡者ゼロを目指した 様々な取組

■ 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」の整備

- ・ 自然災害から生活を守り、市民が集い、楽しむ杜を目指して整備を促進
- ・ 全長約9 kmの海岸防災林をレベル2の津波に対応した高さに嵩上げ



掛川潮騒の杜の完成予想

■ 橋りょう耐震化

- ・ 重要路線等にある67橋の耐震化を進める

■ ソフト施策の充実

- ・ 災害による死亡者ゼロを目指し、避難の重要性の周知や、自助・共助の強化を図る
- ・ 「**防災ガイドブック**」を最新の知見を入れた内容に改訂

掛川潮騒の杜の進捗状況

項目	H26～R2	R3	R4～
施工延長	4,030m	1,227m	3,743m
施工延長 累計	4,030m	5,257m	9,000m
進捗率	44.8%	58.4%	100.0%
盛土量	107万m ³	21万m³	72万m ³

■ 水害対策への備え

- ・ 流域全体で水害を軽減させる「**流域治水**」を促進
- ・ 河川改修や浚渫を国、県と協力して進めるとともに、溜池や田圃などに洪水調整機能を持たせる活用方法の検討を進める
- ・ 小電力無線網を活用した「**河川水位観測システム**」による、河川状況の見える化により、防災対策に役立つ情報提供をする



河川水位観測システム
二次元バーコード →



改革4 環境 ①

■ 内閣府の「SDGs未来都市」の選定

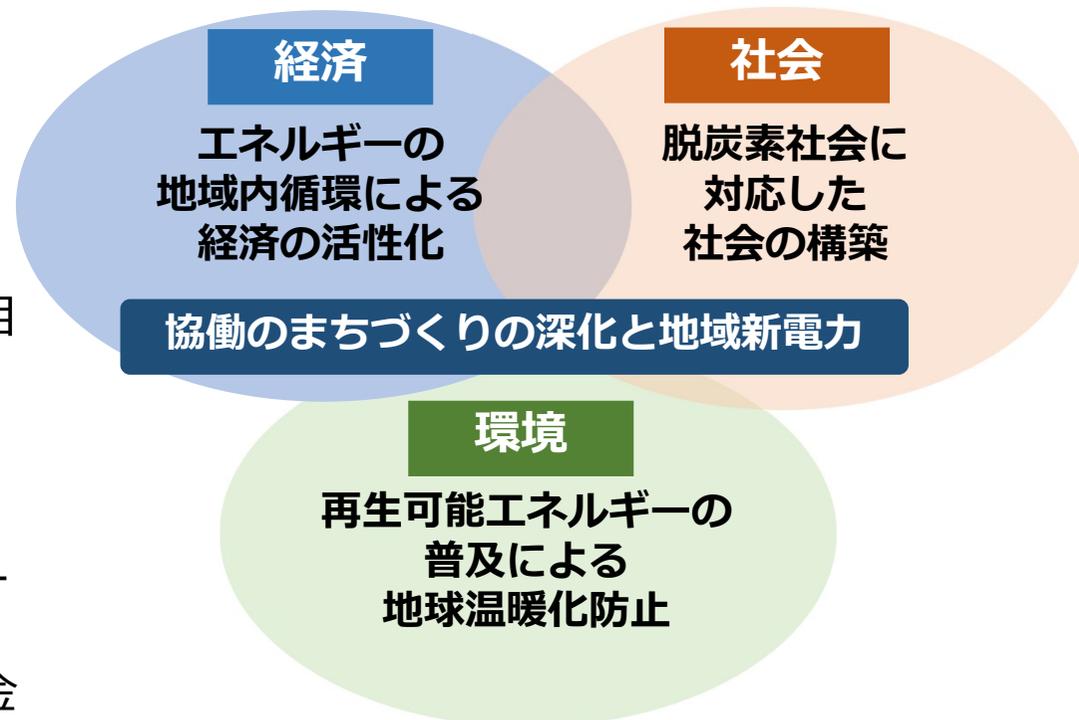
- ・掛川市の「協働のまちづくりの深化と地域新電力」の取組提案が国から選定される
- ・県内では、浜松市、静岡市に次ぐ3番目の認定

■ 掛川版 地域循環共生圏への取組

- ・掛川市では毎年500億円近いエネルギー代金が域外に流出
- ・地域新電力により、地域内の資源・資金を地産地消し、地域内循環による温室効果ガス削減や地域経済の活性化を目指す

■ 地球温暖化対策

- ・令和4年度、国の2050年カーボンニュートラル宣言を受けて、掛川市地球温暖化対策実行計画を改定
- ・超小型EVの導入、脱炭素推進エリアの調査などを予定



海岸エリアに連なる風力発電



導入予定の超小型EV



改革4 環境 ②

■ 「ごみ減量日本一」を奪還！

- ・環境省が行った令和2年度一般廃棄物処理実態調査において、年間1人1日あたりのごみ排出量が、人口10万人以上50万人未満の部で最も少ない自治体（全国1位）
- ・継続的なごみの減量・分別に取り組んできた成果に加え、コロナ禍による事業系一般廃棄物の減少、一昨年度の焼却炉故障によるごみ非常事態宣言発出や、これに伴う市内中学校（北中学校）などによるごみ減量の呼びかけの影響



■ 新しい廃棄物処理施設整備の検討

- ・一昨年度策定した基本構想において、民設民営の公民連携方式（一般廃棄物と産業廃棄物処理）を第一優先に検討してきたが、産業廃棄物に対する市民の不安の高まり、施設の火災、カーボンニュートラルへの取り組みの加速など、社会情勢が急速に変化
- ・今一度、公民連携方式やその他の方式を含めて再検討し、安全安心で安定的な施設とするために適切な意思決定が可能となるよう、菊川市と合同で、専門家6人による検討委員会を設置、6月4日に3回目を開催
- ・満水区、西山口・東山口・日坂・東山地区で市民対話集会を開催、地元をはじめとする市民の意見を踏まえて検討
- ・8月を目途に最終的な方向性をまとめていく予定



現在の施設「環境資源ギャラリー」



専門家による検討委員会